

<第122回 ほほえみの会 >

真夏の会は3人の参加でした。

▽ 小学6年女の子、急性リンパ性白血病。治療は週に一日の入院だけになった。地元の学校に行けなくなり院内学級に転校したが、病院は週に2日だけでどちらの学校にも行けない状態になっている。本人も学校に行きたい気持ちはあるだろうし、また行けないことが負担にもなっているのではないだろうか。地元の学校に戻り保健室登校からでも始められたらいいのではという話がありました。

▽ 夏休みに患者自身のキャンプが各地で開かれました。こども病院患者当事者の会「Peer K.I Camp」の様子です。

Peer (当事者の会) リーダー：藤田恵子

静岡での初キャンプ。こども病院を中心に当事者を集めて行いました。今日では、各地で小児がんの子供たちのキャンプが始まりつつあります。その中、他のキャンプとの相違は当事者がキャンプを立ち上げし、先生方、看護師、等の多職種の協力を得て、始めたことが大きな特徴であるのではないかと思います。

第一回、Peer K.I Campは浜松市にある県立森林公園で行いました。患者(当事者)11名・ボランティア13名・協力者9名の33名の参加でした。

1泊2日という短い日程の中、盛り沢山の行事。初めて初顔合わせする子もいれば、以前からの顔見知りの子もいました。

みんなが静岡駅に集合した時にはまだ、ぎこちない会話もだんだんに、話がすすみ、みんなが仲良くなっていく姿が見受けられました。不思議ですが、みんな同じような体験をした！という共通点が自然と以前からの友達のようにお話ができちゃうのかもしれない。

1日目は、森林公園到着後に開会式、レクリエーション、大道芸、バーベキュー、花火、スイカ割り、お話し会と盛りだくさん。夜も少しだけ…子供たちもみんなと一緒に夜更かしを楽しみました。

2日目は、アスティ森へ移動をし、体験(陶芸と和紙すき)に分かれみんな、好き好きに作りたいものを楽しみました。

このキャンプで子供たちの多くの笑顔が見られ、静岡で、こども病院でこんなキャンプが実行できたことがとても嬉しく思いました。今後も必要とするキャンプではないかと感じています。

私たち、小児がん経験者には何かしらの悩みは持っています。このキャンプを通して、多くの仲間と出逢いたい、そんな仲間との出逢いを大切にしたい。そう思い、これからもキャンプを続けていきたいと考えています。

▽ 今年のスマートムンストーンキャンプを毎日新聞が取材しています。98年から行われているキャンプで、今年は白川郷で開かれました。写真の子供達の一番後ろに写っているのは奈良先生です。



次回 は 9月 11日(日) 11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mailアドレス k_likeda@yahoo.co.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/hohoeminokai/>